



携帯電話用
QRコード

- 主な内容
- 2面 ごぞんじですか?教育センターのこと
教育委員長就任あいさつ
職場体験事業
 - 3面 生涯学習センターへ学びの情報はここに聞こう~
自由民権資料館 企画展
「神奈川県と武相の民権家」
 - 4面 わがまち学校たんけん隊!

発行:町田市 編集:学校教育部 教育総務課 ☎194-8520 町田市森野2-2-22 MACHIDA TEL 042-722-3111 ホームページ <http://www.city.machida.tokyo.jp>

町田市の教育委員会を紹介します

教育委員会とはどんなところ?

教育委員会は、都道府県や市町村など、教育事務を処理する地方公共団体に設置され、学校やその他の教育機関を管理し、学校教育や生涯学習などの教育に関する事務を専門的に行う、市長から独立した執行機関です。

教育委員会は5人の教育委員によって構成され、合議制により意思決定がされます(狭義の教育委員会)。教育委員会の下には教育委員会事務局が置かれ、実際の業務の処理を行います。事務局までを含めて教育委員会と呼ぶこともあります(広義の教育委員会)。



▲教育委員会会議風景

教育委員会の会議について

教育委員会の会議は、毎月1回定例会が開催されるほか、必要に応じて臨時会が開催されます。会議では、重要な事項の議決を行うほか、委員同士で協議を行ったり、事務局から様々な報告がなされ、そのつど活発な議論が行われます。

click! 教育委員会会議録が、町田市ホームページに掲載されています。
町田市ホームページ>子育て・教育>町田市教育委員会>教育委員会について>教育委員会の会議録



議会の同意を得て
委員を任命

教育委員はどうやって選ばれるの?

教育委員は、人格が高潔で、教育、学術及び文化に関して、深い識見を有する人の中から、市長が議会の同意を得て任命します。任期は4年です。

教育委員長とはどんな人?

教育委員長は、教育委員の中から選挙によって選ばれます。任期は1年ですが、再選が可能です。

教育委員会の会議を主宰し、教育委員会を代表します。

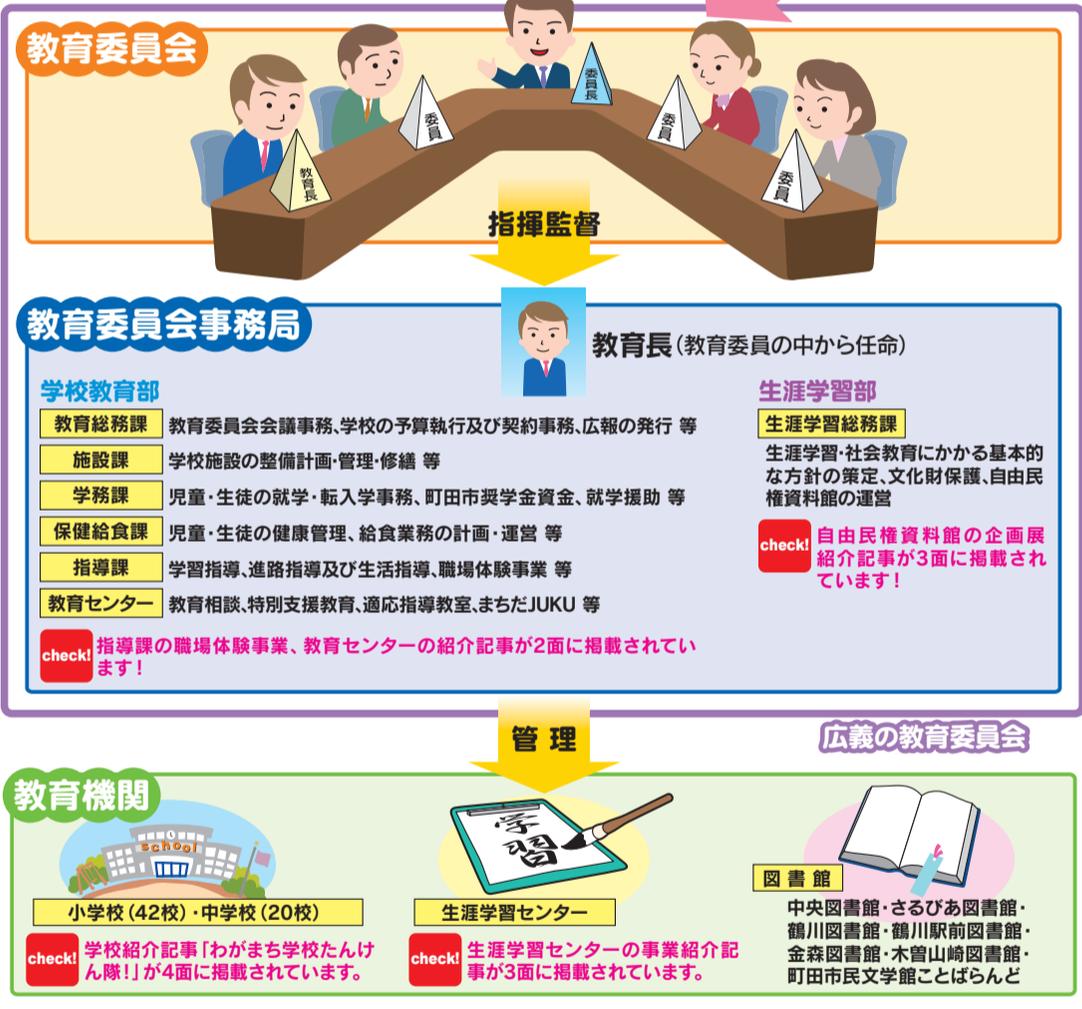
check! 佐藤教育委員長の就任あいさつが2面に掲載されています。

教育長とはどんな人?

教育長は、教育委員の中から教育委員会が任命します。教育委員会の指揮監督の下に、教育委員会のすべての事務をつかさどり、事務局の事務を統括します。

教育委員はどんなことをしているの?

教育委員会会議のほか、学校等の教育現場の視察や、教育関係の各種行事、研修等へ参加し、教育委員会としての考えや思いを広め、さまざまな活動を称え激励し、現場の状況や生の声を把握することにより、教育行政のいっそうの充実に努めています。



町田市民文学館ことばらんど 夏の展覧会のおしらせ

「きのこ×文学」ワンダー★ランド ～きのこ文学の森へようこそ!～

入場
無料

「きのこ文学」と聞いて、何を思い浮かべますか?

「きのこ文学」とは、東西の小説、詩、戯曲、エッセイ、漫画、絵本など「きのこ」をテーマにしている文学作品、言葉によって表現されたきのこ全般を意味しています。

本展では絵本や童話作品を中心に、きのこ図鑑や模型、きのこアートやグッズなど周辺資料も取り揃え、多彩な「きのこワールド」をご紹介します。

さあ、あなたもこの夏、不思議なきのこ文学の森へ迷い込んでみませんか?

- ↑会 期:7月20日(土)～9月23日(月・祝)
- ↑休館日:毎週月曜日(ただし9月16日、9月23日は開館)、8月8日(木)、9月12日(木)
- ↑開場時間:10:00～17:00
- ↑問い合わせ:町田市民文学館ことばらんど ☎:739-3420

★会期中、関連イベントを多数開催します。詳細は町田市民文学館HPをご覧ください。



夢野久作
「きのこ会議」より
©玉木えみ



シートン
「旗尾リスのほうけん」より
©玉木えみ

ごぞんじですか? 教育センターのこと

教育センターは、市立小・中学校の教員の資質向上と学校教育の充実・発展を図るために様々な事業を行っています。
“学校や教員、児童・生徒の縁の下の力持ち”としての教育センターの事業をご紹介します。



小学校適応指導教室

心理的な要因により不登校及びその傾向にある児童を学校に復帰させるために、少人数による指導を行っています。

特別支援教育事業

「就学・進学相談」「特別支援学級」など、特別な支援を必要とする児童・生徒に対し、ニーズに応じた適切な教育を通じて必要な支援を行っています。

教育相談

幼児から18歳までの様々な教育上の問題について、教育相談員(臨床心理士)が、各専門家・関係機関と連携をとりながら、解決・改善を図っています。

日本語指導

外国籍の児童・生徒及び帰国児童・生徒のうち、希望者に対して、ボランティアを派遣して日本語指導を行っています。



科学センター事業

児童・生徒の科学的態度、能力、技術の向上や創造力の育成を図るため、小学5年生・中学2年生を対象に希望者を募り、理科専門教師の指導の下、実験や作業などの研究活動を行っています。

研修事業

教員の授業力アップのための教育アドバイザーによる個別指導、市内の大学と連携した教員対象の夏季授業力研修の実施により、教員の資質・能力向上を支援しています。

教育の情報化の推進

市内小・中学校に学校ネットワーク環境やパソコンを整備すると共に、ICT授業の支援を行い、情報教育の充実を図っています。



教科書センター

南多摩第二教科書センターとして東京都から指定を受けており、小学校・中学校・高校の教科用図書展示を行っています。



問い合わせ 町田市教育センター ☎ 793-2481

【交通の案内】

- ・JR横浜線「古淵駅」から徒歩10分
- ・町田駅からバスの場合、町田バスセンターから2番乗り場の全てのバス及び3番乗り場の境川団地経由バス乗車後、「境川団地中央」下車すぐ

「中学校適応指導教室」「まちだJUKU」スタート!!

町田市教育委員会は、6月から「中学校適応指導教室」と「まちだJUKU」を教育センターに開設しました。

「中学校適応指導教室」は不登校又は不登校傾向生徒への学校復帰支援、「まちだJUKU」は問題行動を繰り返す生徒への個別指導事業で、町田市教育プランの重点事業である中学生を対象とした学校不適応生徒支援事業の核となるものです。

これら新事業を通じ、児童・生徒一人一人がよりよい学校生活を送れるよう支援していきます。



教育委員長

就任あらわす



佐藤 孝 昇 教育委員長

この度、4月1日付けで委員長に就任いたしました。昨年3月に校長職を退き、教育委員になってから未だ1年が経ったばかりで少々不安も感じますが、町田市の学校教育や生涯学習の充実・発展のために全力を注ぐ覚悟でありますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

展のために全力を注ぐ覚悟でありますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。さて、昨年は、「いじめ」や「体罰」の問題が取り上げられるとともに、「教育委員会制度の見直し」が論じられるようになりました。教育委員とはどんな存在なのか、委員長と教育長はどのような関係なのか、首長(市長)と教育委員会(教育委員)はどのような関係にあり、今後とも、町田市教育委員会が進める教育行政について、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。皆様には、今後とも、町田市教育委員会が定める教育行政について、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

教育委員会の動き

3月～5月

- 町田市立学校の学級編制基準の一部改正について
- 町田市学校給食問題協議会への諮問について
- 報告事項
- 町田市スクールソーシャルワーカー設置要綱の制定について
- 教育委員会表彰について
- 防犯ブザー配布事業について
- 町田市の文化財の有効活用について(提言)
- 鶴川第一小学校基本設計について
- 生涯学習センター家庭教育支援事業について

職場体験事業

「地域で支えよう 町田っ子の未来探し」

市内中学校の2年生が、下記の日程で、市内を中心に民間事業所等の協力を得て、職場体験を行います。

現在、新たな受け入れ先事業所を募集しています。詳しくは指導課(☎724・2154)までお問い合わせ下さい。

働くことや学ぶことの意義について、理解を深める貴重な未来探しの機会となります。また、社会の一員としてのマナーやルールを身につけた

- 第1期 9月16日(月・祝)～9月20日(金)
- 第2期 11月25日(月)～11月29日(金)
- 第3期 2014年1月27日(月)～1月31日(金)





生涯学習センター ～学びの情報はここに聞こう～

生涯学習センターは、地域の生涯学習の拠点として、様々なテーマの講座や講演会を実施するほか、生涯学習に関する情報の収集や提供、相談業務などを行っています。今回は、生涯学習に関する情報満載の情報誌『生涯学習NAVI 好き! 学び!』と、どなたでも参加できる「さがまちカレッジ」についてご紹介します。

問い合わせ 生涯学習センター ☎ 728-0071



生涯学習NAVIを 見てみよう!

「何か学んでみたい」「休日には何をしよう」…こんな気持ちになった日は、生涯学習情報誌『生涯学習NAVI 好き! 学び!』を片手に、市内の学習イベントに参加してみたいかどうかがでしょうか。

▲『生涯学習 NAVI 好き! 学び!』 6・7月号

生涯学習センターでは、市内の様々な学習情報を収集して皆さんの生涯学習活動を応援しています。情報誌には、主に市内で開催される学習講座やイベント等の情報が満載です。2ヶ月に1度発行しており、現在6・7月号を配布中です。この情報誌は、生涯学習センターのほか、市立図書館や市民センター等の公共施設で無料配布しています。

講座・イベント情報のほか、読み物ページも充実しています。ぜひお手に取ってご覧ください。

“さがまちカレッジ”に 参加してみよう!

生涯学習センターは、様々な団体と連携をしています。その一つが公益社団法人相模原・町田大学地域コンソーシアム(通称「さがまちコンソーシアム」)です。近隣の大学や企業・NPOが参加して地域の魅力向上に向けて活動しています。

さがまちコンソーシアムが提供する学習講座が「さがまちカレッジ」です。学びの楽しさを伝えながら、暮らしに役立つ講座や社会的な課題の解決など、身近な話題をテーマに様々な講座を提供しています。

町田市連携講座では、生涯学習センターが会場となります。開催の予告は広報まちだで随時行います。また、チラシや受講申込書は生涯学習センターのほか、図書館や市民センター等の公共施設で配布しています。ぜひご参加下さい。

2013年度「さがまちカレッジ」開催予定講座(7月～9月)

- 蓮の香りを聞く(蓮の香りの紹介など)
- 「アスリート関係者の皆様!!お菓どうしていますか?」～うっかりドーピングにご用心～
- 理系への夢を育てよう!～女性獣医師の活躍する現場って?～
- デザイン脳 ①良いデザインは何? ②脳を刺激する書籍
- 誰でもできる!プランターで野菜作り 秋編
- 親子で学ぶこどもの病気～子供の感染症と予防～
- 江戸を楽しむ 一江戸のヒーローたち
- 「こころの救急マニュアル～大切な人の心の健康のために～」

2013年度「さがまちカレッジ」夏休み子ども講座

- Kids English in SALESIO ー親子で楽しむKids Englishー
- 親子でピクトグラムうちわを作ろう
- 「ゲームを作ってみよう!」プログラミングワークショップ
- たのしく環境を学ぼう in 鶴見川
- 水族館の仕事ー北里大学海洋生命科学部 夏の体験講座ー

自由民権資料館企画展 入館無料 「神奈川県会と武相の民権家」

会 期: 7月27日(土)～9月16日(月・祝)

開館時間: 9:00～16:30

休館日: 月曜日(ただし9月16日は開館)

問い合わせ 自由民権資料館 ☎ 734-4508

1879(明治12)年、世界との窓口だった横浜で、神奈川県会が開かれます。そこには、県内各地の民権家たちが選挙で選ばれ、県会議員として参加しました。1893(明治26)年まで神奈川県に属していた多摩地域からも、各郡選出の議員が参加しました。

今回の企画展では、神奈川県会の様子や、そこで起こった出来事・事件、そこに立ち会った民権家・県会議員たちの体験を覗いてみます。

会期中、講演会やギャラリートークを行います。詳細は、町田市ホームページや広報まちだ、『生涯学習NAVI』8・9月号でお知らせします。



▲第1回神奈川県会での
県会議員集合写真



▲第1回神奈川県会の会場となった
横浜町会所

連載 町田市の文化財をご存知ですか

第11回 三輪瓦窯址



▲三輪瓦窯址

三輪緑山の造成に伴い昭和57年に調査が実施され、奈良時代の瓦窯跡1基と住居跡4軒、平安時代の住居跡1軒が確認されています。瓦窯で焼かれた瓦は北東へ約300m離れた川崎市の岡上廃寺に供給された可能性が指摘されています。住居跡は出土した遺物から瓦の生産に携わった人たちの住まいや工房らしいことがわかりました。

現在、遺跡は三輪ゆりの木通り公園内に保存されており、タイルや盛土で窯と住居の位置が表示されています。

所 在: 三輪緑山3丁目14
案 内: 小田急線鶴川駅3番バス乗り場より小田急バスで三輪入口下車すぐ



町田市歴史の1コマ

県会議員不完全選挙と村野常右衛門

1881(明治14)年、第2回神奈川県会議員選挙が行われました。町田市域が属した南多摩郡の定数は4名。選挙権は、納税額で制限があったので、納税額により有権者名簿の更新が必要でした。ところが、南多摩郡では選挙人の名簿に一部の有権者が掲載されておらず、投票できないという事件が起きました。逆に、選挙権がないのに、投票できた人もいました。さらに、誰が被選挙権者なのかも判然としない状態でした。原因は、郡役所が選挙権者・被選挙権者の名簿の更新を怠っていたためでした。

野津田村の戸長だった若き



▲村野常右衛門(満25歳ころ)

▲筆写された被選挙権者名簿

ちなみに、糾弾された郡長佐藤俊正というのは、新選組を支えた日野の佐藤彦五郎のことです。民権運動は、しばしば「反薩長」意識で新選組から連続していると考えられがちですが、この事件はそれでは説明できない象徴的な出来事といえます。



南第四小学校の教育

～わくわくする学校をめざして～

第四小学校という名前がつく町田市の公立小学校は3校あり、よく間違えられます。そこで本校は、「ナンシーちゃん」というイメージキャラクターをつくっています。「ナン」は「南」、「シー」は第四の「四」です。教育目標の「明るく、元気な子」もアピールしています。わくわくする学校をめざした現在の特色は、次の4点です。

(1) 教育環境の整備

昨年10月に芝生化の工事が完了し、育成期間を終え、子どもたちは芝生の上で、元気に遊んだり、運動したりしています。



▲なまず池

毎日、しっかりと世話をしています。また、今年度は、新たに「かぶとむし小屋」を設置しました。

(4) ホームページによる教育活動の発信

リアルタイムを基本方針にして、ホームページを更新しています。1日に180件前後のアクセスがあります。

(2) 全国学校体育研究大会発表校

東京で33年ぶりに開催される全国学校体育研究発表大会の陸上運動領域系の研究発表校です。11月15日(金)の研究発表に向け、研究を重ねています。

(3) 飼育活動の取り組み

くじゃく、うさぎ、にわとりを飼育しています。高学年の飼育当番が



▲研究授業の様子(6年生)



▲ナンシーちゃん

鶴川第三小学校の教育

～鶴二小の歌声、自然、読書、食育、これから～

【歌声】「この坂道登ったらはくの学校があります…青空に抱かれたはくの自慢の学校、この坂道をはくは毎朝風をきってかけます」(学校坂道の歌詞より)30年以上続くPTA花壇に沿って「がんばり坂」を登ると鶴川第二小学校があります。

毎朝、NHK全国学校音楽コンクールで輝かしい実績を誇る鶴二小合唱団の歌声の中、子どもたちが元気に登校してきます。集会や行事で全児童の美しい歌声が響き、その歌声が学校の雰囲気をつくっています。



▲ゲストティーチャーによるカブトムシ授業(3年)

【読書】図書室は、時季に応じた掲示やレイアウトが工夫された図書室の環境、保護者の図書ボランティアによる読み聞かせや整備活動も充実し、読書力の向上につながっています。

【食育】食育推進校として、市内唯一の栄養教諭による食育授業や、毎月行われる異学年児童での誕生会給食、そして毎日の給食のおいしさも自慢の特色です。

国立教育政策研究所と町田市教育委員会の指定校として、論理的思考力について研究し、2月に研究発表します。来年度50周年記念行事と大きな節目を迎え、これからも鶴二小は、保護者や地域の皆さんと共に進みます。



▲合唱コンクールで活躍する鶴二小合唱団

【自然】広い敷地には、流れる水路を併設したピオトープや水田、野鳥園、カブトムシ園など、里山の面影を残した学習環境を整備し、3年生全員がカブトムシ飼育に取り組みます。また、毎月の「鶴二自然クラブ」(おやじの会共催)では環境学習に取り組みます。

【読書】図書室は、時季に応じた掲示やレイアウトが工夫された図書室の環境、保護者の図書ボランティアによる読み聞かせや整備活動も充実し、読書力の向上につながっています。



▲レイアウトや掲示を工夫した図書室



わがまち学校たんけん隊!

忠生小学校の教育

～くすの木に見守られて102年～

忠生小学校は、本年度開校102年を迎えた、歴史と伝統のある学校です。現在、19学級、特別支援3学級、児童658名が、シンボルツリーであるくすの木に見守られて、学校生活を送っています。校舎の4階より高くなつたくすの木は、枝を広げて木陰を作り、子どもたちに涼しさと爽やかさを届けてくれています。



▲町田市銘木百選のくすの木

本校の教育目標は、「よく考えくふうする子」「思いやりのある子」「つよい心と体をもつ子」です。また、めざす子ども像の一つに「自分で考え、見通しを持って主体的に行動できる子」を掲げています。これらの実現に向けて、本年度は、国語科の「読むこと」の学習を中心に、校内の授業研究に取り組んでいます。

特色ある教育活動として、カイコの飼育・稲作栽培・サマースクールなど



▲地域の田んぼを借りて稲作体験をする5年生

の体験活動があります。これらの取り組みは、いずれも地域の方々にご協力をいただきながら進めています。これからも、「忠生っ子」がふるさと忠生の担い手となれることを願いながら、学校・家庭・地域が共に子どもを育てる活動の充実を図ってまいります。



▲サマースクールでの生け花教室

真光寺中学校の教育

～生徒にとって生きがいと誇りのもてる学校～

「おはようございます」「こんにちは」休み時間や放課後に聞こえてくる生徒たちの声です。また、行事での「礼」がとても丁寧で、演壇に立たれた方が、生徒たちが体を起こすまでの間の長さに驚かれることもしばしばあります。「あいさつの真中」と言われる学校にしようと、生徒や教職員が意識して受け継いでいこうとしている伝統です。

その一方で、自然に受け継がれている伝統として、先輩が後輩の手本となり、面倒をよく見るということが挙げられます。生徒の95%以上は鶴川第四小学校の卒業生であるという背景から、生徒たちの間に人間関係ができていくことが要因の一つです。



▲大ムカデ競走(1・2・3年生男女混合でチームを編成)

2年間、その姿を見続けた後輩たちは、3年生になると自然とそのよいところを引き継ぎ、卒業式の日まで先輩として頑張ります。

このような伝統に加え、生徒一人一人が築30年を超える校舎を大切にしながら学校生活を送り、様々な場で生きがいを見つけ、達成感を味わうことで真光寺中学校生としての誇りを育てています。



▲鶴川第四小学校6年生を招いての部活動体験



▲合唱祭